

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 108

千葉県立安房高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

人物に優れ、仲間と共に互いを高め合いながら高校生活全般に主体的に取り組む意志を持つ、次のいずれかに該当する生徒

ア 学習成績が特に優秀で、将来の進路希望の実現を目指し、明確な目標を持って入学後も学習活動に積極的に取り組む意欲があること。

イ 学習成績が良好で、部活動において優れた資質と実績を持ち、入学後も継続して活動する意欲があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：5分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	20点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔145点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限10点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席の合計が30日以上である場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数が1つ以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。問題となる記載がある場合は、審議の対象とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔25点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに各評価基準に基づき、a（特に優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組み合わせ（a a～c c）で得点化する。cの評価が2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機及び 高校生活への意欲	志望の動機が明確で、本校の「期待する生徒像」に合致している。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
イ 質問に対する応答 面接に臨む態度	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったことや将来の進路希望等について、明確に回答することができる。 面接に臨む態度が適切で、身だしなみを含め、基本的な面接作法が身についている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

ア 「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、次のパーセントまでを入学許可候補者とする。

(ア) 受検者数が募集人員以内のときは、受検者数の80パーセント

(イ) 受検者数が募集人員を超えるときは、募集人員の80パーセント

<ア：総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K = 1)	加点	面接	
500点	135点	10点	25点	670点

イ 上記アで決まらなかった者については、「学力検査の得点」に、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」に本校の定める係数（ $k_1 = 1$ 、 $k_2 = 5$ 、 $k_3 = 3$ 、 $k_4 = 1$ ）を乗じて算出した得点を加えた「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<イ：総得点の満点の内訳>

学力検査の得点 ($k_4 = 1$)	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K = 1、 $k_1 = 1$)	加点 ($k_2 = 5$)	面接 ($k_3 = 3$)	
500点	135点	50点	75点	760点

※ k_1 ：アの「調査書の各教科の評定の全学年の合計値にKを乗じた数値」に乗じる係数

※ k_2 ：アの「調査書の記載事項の加点」に乗じる係数

※ k_3 ：アの「学校設定検査の得点」に乗じる係数

※ k_4 ：アの「学力検査の得点」に乗じる係数

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。